



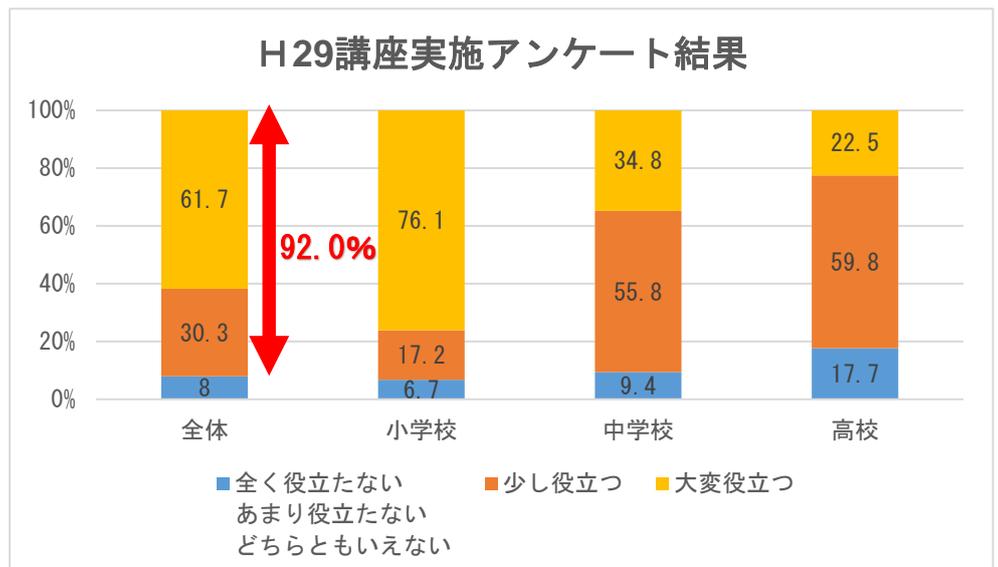
平成29年度のスマホ・SNS勉強会の開催状況報告について

平成29年度には、小学校11校、中学校4校、高校1校、その他1団体を対象にスマホ・SNS勉強会を26回、3,631人に対して実施しました。

講座実施アンケートの結果では、全体で9割以上の受講者がスマホ・SNS勉強会を受講して今後の役に立ったと回答しています。

一方で、「既に知っている内容だったので飽きてしまった」、「スマホを持っていないのでトラブルにあらう実感が無い」等の感想もありました。

平成30年度の勉強会では、SNSトラブルを自分の立場で考えるためのグループワークの見直しや、説明をよりやさしい表現へと変えることで、受講者の理解度アップを図ります。また今後は学年に合わせた勉強会を開催し、繰り返し学ぶことで知識の定着を目指したいと思います。



三島スマホ安心アドバイザー日記

平成29年12月から平成30年4月に実施したスマホ・SNS勉強会の開催状況です。

12月19日(火)	坂小学校	受講者数	15人
1月19日(金)	沢地小学校	受講者数	48人
2月2日(金)	長伏小学校保護者	受講者数	45人
2月5日(月)	東小学校	受講者数	63人
3月13日(火)	北上中学校1年生	受講者数	157人
3月15日(木)	北上中学校2年生	受講者数	151人
4月10日(火)	北中学校	受講者数	594人



▲北上中学校の様子

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

URL:<https://mishima-life.jp/smashoadv.html>



心の隙を狙う「ソーシャルエンジニアリング」に要注意

皆さんは「ソーシャルエンジニアリング」という言葉を知っていますか？ソーシャルエンジニアリングとは、人の心の隙や行動のミスにつけ込み、パスワード等の個人機密を盗み出す方法のことです。セキュリティを破る方法は、サイバー攻撃だけではありません。今回はソーシャルエンジニアリングの種類とその対策についてご紹介します。



①電話でパスワードを聞き出す

電話を利用したソーシャルエンジニアリングは、昔からある代表的な方法です。何らかの方法でユーザ名を入手したら、その利用者のふりをしてパスワードを聞き出したり、変更を依頼したりします。



**電話で重要情報を伝えない、など
ルールづくりが必要！**



②ショルダハッキング（肩越しにキー入力を見る）

パスワードなどの重要な情報を入力しているところを後ろから近づいて、覗き見る方法です。肩越しに覗くことから、ショルダ（shoulder=肩）ハッキングと呼ばれています。



**パスワードやクレジットカード情報など
重要情報の入力は周りに注意する！**



③トラッシング（ごみ箱を漁る）

外部からネットワークに侵入する際に、事前の情報収集として行われることが多いのがトラッシングです。ごみ箱に捨てられた紙や記録媒体から、サーバの設定情報、ネットワーク構成図、IPアドレス一覧、IDとパスワード等を探し出します。



**重要書類・記録媒体は
シュレッダーや溶解処理など
適切に廃棄すること！**



詳しい内容は、下記のサイトをご覧ください。

（出典）総務省「国民のための情報セキュリティサイト ソーシャルエンジニアリングの対策」をもとに作成

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/business/staff/12.html

編集後記
▽新年度は気持ち新たに、気が引き締まる方も多いですが、五月病を防ぐためにも、たまには息抜きが必要です。▽しかし今回紹介したように、セキュリティ面での息抜きは重大な事故に繋がります。▽セキュリティは隙を作らず、常に気を引き締めたいと思います。（神）

発行 親と子のスマホ・SNS 安心情報ネットワーク会議

発行日 平成 30 年 5 月

事務局 三島市情報政策課

電話 055-971-4322

メール jyouhou@city.mishima.shizuoka.jp

